

OS と Starter Pack の対応 (NX7700x/A5010E-2 v2 向け)

※注) 本書の適用範囲はモデル名末尾に **v2 が付いている製品**です。
v2 以外の製品(v 表記無し)は適用対象外です。

○ A5010E-2 v2 モデル ✕ A5010E-2 モデル

対象モデル名	対象型番
A5010E-2 v2※	NE3300-233Y/234Y
A5010E-2 v2 LOM セットモデル※	NE3300-235Y/236Y
A5010E-2 v2 LOM セレクタブルモデル※	NE3300-237Y/238Y

※本書は iLO5 のファームウェアバージョン 2.72 以降が対象です。

バージョン 2.72 未満は旧版の「[OS と Starter Pack の対応\(NX7700x/A5010E-2 v2 向け\)](#)」を参照してください。

iLO5 のファームウェアバージョンの調べ方は、本書末尾の「(参考) [iLO5 のファームウェアバージョン確認方法](#)」を参照してください。

OS と Starter Pack について

NX7700x/A5010E-2 v2 (以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼動のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用

OS インストール準備

1. 「[1 OS と Starter Pack 対応表](#)」
インストールする OS に適合する Starter Pack バージョンを確認します。
2. 「[2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認](#)」
サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。
工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外の場合(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

Starter Pack の適用

3. 「[3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用](#)」
手順 2 で確認したバージョンの Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
ただし、既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。手順 4 に進んでください。
4. 「[4 OS のインストールおよび Starter Pack\(ドライバー、バンドルソフトウェア\)の適用](#)」
OS の種別(Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi/Windows Server/)毎に手順が異なります。
インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

1 OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表から、利用 OS に対応した Starter Pack を確認してください。

対応 OS		Starter Pack バージョン													
		S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80	S8.80
		001.08	001.09	002.01	002.02	003.01	003.02	004.01	005.01	005.03	005.05	005.08	005.09	005.10	005.11
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓*1	✓*1	✓*1	✓										
	7.7			✓*1	✓	✓	✓								
	7.9									✓					
	8.2					✓	✓	✓							
	8.4								✓	✓					
	8.6											✓	✓		
VMware ESXi	6.5 update 3		✓*1	✓*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓					
	6.7 update 2	✓*1	✓*1	✓*1	✓	✓	✓								
	6.7 update 3		✓*1	✓*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓					
	7.0				✓	✓	✓								
	7.0 update 1					✓	✓	✓							
	7.0 update 2					✓	✓	✓	✓	✓					
	7.0 update 3								✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	8.0										✓	✓			
	8.0 update 1											✓	✓		
	8.0 update 2												✓	✓	✓
	8.0 update 3														✓
Windows Server	2019						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

*1 これらの Starter Pack バージョンは工場出荷時に適用されている場合は、対象 OS を使用する事が可能ですが、
「2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認」にてサーバに適用する Starter Pack バージョンとして選択することはできません。
S8.80-002.02 以降を選択してください。

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。
サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先:https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a5010e.html
- 搭載する CPU によって適用可能な Starter Pack が異なります。CPU の型番が、NE3301-1519A など末尾が A または B であれば、Starter Pack S8.80-001.08 以降、NE3301-1723C など末尾が C または D であれば、Starter Pack S8.80-002.02 以降を適用してください。

2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認

サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

- 工場出荷後に初めて OS をインストールする場合は、A.1 に進みます。
- それ以外の場合(使用 OS を変更する)は、B.1 に進みます。

A.1 別紙「本体装置出荷時に適用された Starter Pack バージョンの判別方法」を参照して、本体装置出荷時に適用されている各種ファームウェアバージョンから Starter Pack バージョンを判別してください。

尚、複数の Starter Pack バージョンに一致する場合があります。その場合は、一致する複数の Starter Pack バージョンに適合していることになります。

別紙掲載 URL:

<https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>

A.2 手順 A.1 で確認したバージョンと手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS に適合する最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

例 1(手順 A.1 と手順 1 でバージョンが一致する場合):利用 OS が RHEL8.4 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-005.01 と S8.80-005.03 であることが確認できます。
- 手順 A.1 の本体装置出荷時に適用されている Starter Pack バージョンは、S8.80-005.01 と S8.80-005.03 が該当したものとしてします。
- この場合、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、S8.80-005.03 になります。

例 2(手順 A.1 と手順 1 でバージョンが一致しない場合):利用 OS が RHEL7.6 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-002.02 であることが確認できます。
- 手順 A.1 の本体装置出荷時に適用されている Starter Pack バージョンは、S8.80-005.05 が該当したものとしてします。
- この場合、本体装置出荷時に適用されているバージョンは OS に適合していないため、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、OS に適合する最新のバージョンの S8.80-002.02 になります。

B.1 手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

例:利用 OS が RHEL8.4 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-005.01 と S8.80-005.03 であることが確認できます。
- この場合、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、S8.80-005.03 になります。

3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用

既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。
手順 4「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」に進んでください。

それ以外は、手順 2「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」で確認した Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。

Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って適用してください。

Starter Pack 掲載 URL: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a5010e.html

4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用

OS の種別毎に手順が異なります。インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

OS に対応する説明書は、「OS と説明書の対応表」を参照してください。

- Red Hat Enterprise Linux の場合は、インストールガイド(Linux 編)と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- VMware ESXi の場合は、仮想化環境準備項目一覧と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- Windows Server の場合は、Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

OS と説明書の対応表

対象 OS	バージョン	説明書		
		インストールガイド (Linux 編)	仮想化環境準備項目一覧	インストールガイド (Windows 編)
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓	✓	
	7.7	✓	✓	
	7.9	✓	✓	
	8.2	✓	✓	
	8.4	✓	✓	
	8.6	✓	✓	
VMware ESXi	6.5 update 3	✓	✓	
	6.7 update 2	✓	✓	
	6.7 update 3	✓	✓	
	7.0	✓	✓	
	7.0 update 1	✓	✓	
	7.0 update 2	✓	✓	
	7.0 update 3	✓	✓	
	8.0	✓	✓	
	8.0 update 1	✓	✓	
	8.0 update 2	✓	✓	
	8.0 update 3	✓	✓	
Windows Server	2019	✓		✓

各説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド(Linux 編) <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>
- 仮想化環境準備項目一覧 <https://jpn.nec.com/nx7700x/support>
- インストールガイド(Windows 編) ※ <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>

※掲載の「インストールガイド(Windows 編)」は、Starter Pack Version S8.80-003.02 に準じたインストール手順です。Starter Pack Version S8.80-004.01 以降 を使用する場合は、使用する Starter Pack のダウンロードサイトに掲載している「インストールガイド(Windows Server 20xx 編)」を参照してください。

(参考) iLO5 のファームウェアバージョン確認方法

iLO5 のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

- **サーバのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Utilities : System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」 → iLO5 のファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

- **iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO 5」 → iLO5 のファームウェアバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドを参照します。

(参考) 監視・管理サーバのソフトウェアバージョン

本モデルを他の管理 PC(サーバでも代替可)で管理する場合、管理 PC の管理ソフトウェアが本モデルを管理できるバージョンか(本モデルを管理対象としてサポートしているか)確認してください。ESMPRO/ServerManager を利用する場合、管理 PC の ESMPRO/ServerManager をアップデートしなければならない場合があります。下記の Web サイトから最新版をダウンロードし、インストールしてください。

ESMPRO/ServerManager ダウンロード

<http://jpn.nec.com/esmsm/download.html>

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.7(Windows)

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.6(Windows)